



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 バークアレクス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 6193 URL <https://www.vx-holdings.com/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）丸山 栄樹
問合せ先責任者 （役職名）取締役 経営管理本部長 （氏名）黒田 勝 TEL 03-3578-5300
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	3,329	6.4	101	144.1	132	—	100	—
2025年3月期中間期	3,130	△8.9	41	△71.6	△14	—	△1	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 102百万円（－％） 2025年3月期中間期 △7百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	35.60	35.39
2025年3月期中間期	△0.51	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	3,809	1,824	46.9
2025年3月期	3,786	1,773	45.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 1,786百万円 2025年3月期 1,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,900	6.3	330	18.2	320	72.8	200	80.2	71.90

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	2,991,753株	2025年3月期	2,989,753株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	176,229株	2025年3月期	176,229株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	2,814,529株	2025年3月期中間期	2,847,075株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、決算説明会を開催する予定です。決算説明会(動画)及び決算説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、個人消費や設備投資が持ち直しつつある中、緩やかな回復が続くことが期待されています。一方で、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスク、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に注意が必要と思われます。

このような状況の下、バーチャレクス・コンサルティングはCRMをビジネスのドメインに、タイムインターメディアはWeb、文教・教育、AIなどをビジネスのフィールドとして、当社グループの持つコンサルティング、テクノロジー、オペレーションのケイパビリティを融合させ、ワンストップ伴走型でトータルな支援を継続して行ってきました。

その結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高3,329,310千円（前年同期比6.4%増）、営業利益101,702千円（前年同期比144.1%増）、経常利益132,946千円（前年同期は経常損失14,466千円）、親会社株主に帰属する中間純利益100,188千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失1,460千円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

IT&コンサルティング事業は、前年度低調だった期初の稼働率が今年度は第1四半期から堅調に推移しており、成長戦略と位置づけるAIを中核としたサービス・事業展開も順調に立ち上がりつつあります。また開発期間が長引き収益を圧迫していた株式会社タイムインターメディアの大型案件の収束目途が概ね立つとともに株式会社タイムインターメディアで、前連結会計年度末に急激に信用力が悪化した特定の得意先に対する売上債権の回収が完了したため、当該得意先に対して計上を停止していた売上を計上するとともに、当該得意先の売上債権に対して計上していた貸倒引当金について、当中間連結会計期間において貸倒引当金戻入益を計上しました。

その結果、売上高は1,885,174千円（前年同期比4.7%増）、セグメント利益は404,921千円（前年同期比21.3%増）となりました。

アウトソーシング事業は、IT&コンサルティング事業におけるマザーセンター構築コンサルティングサービスからマザーセンター運営受託のアウトソーシングサービスに繋げる取り組みにより、前年度期中より大手クライアントの他事業領域への横展開が結実しています。

その結果、売上高は1,444,136千円（前年同期比8.5%増）、セグメント利益は258,157千円（前年同期比10.2%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より22,963千円増加し、3,809,466千円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が243,391千円減少した一方で、追加の株式投資を行った事により、投資有価証券が115,572千円増加したこと、現金及び預金が62,410千円増加したこと、前払費用が26,568千円増加したこと、ソフトウェア・ソフトウェア仮勘定などの無形固定資産が30,026千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末より28,447千円減少し、1,984,813千円となりました。これは主に、前受金が51,025千円増加した一方で、長期借入金が66,360千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益100,188千円を計上したこと、配当金の支払により42,202千円減少したこと等により、前連結会計年度末より51,411千円増加し1,824,652千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末と比べ62,410千円増加し、中間期末残高は1,427,866千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得た資金は、343,254千円（前年同期は23,263千円の支出）であります。これは主に、税金等調整前中間純利益145,457千円の計上、売上債権の減少額243,391千円による資金の増加があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、173,846千円（前年同期は104,226千円の支出）であります。これは主に、投資有価証券の取得による支出100,322千円、無形固定資産の取得による支出76,516千円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、106,996千円（前年同期は194,703千円の収入）であります。これは主に、配当金の支払額42,074千円、長期借入金の返済による支出66,360千円があったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日の2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）で公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,365,456	1,427,866
受取手形、売掛金及び契約資産	1,232,389	988,998
仕掛品	6,346	4,893
前払費用	96,690	123,258
その他	6,363	10,454
貸倒引当金	△28,195	—
流動資産合計	2,679,051	2,555,472
固定資産		
有形固定資産	82,951	84,110
無形固定資産		
ソフトウェア	169,551	160,145
ソフトウェア仮勘定	177,173	216,606
電話加入権	3,820	3,820
無形固定資産合計	350,545	380,571
投資その他の資産		
投資有価証券	427,646	543,219
その他	251,221	251,007
貸倒引当金	△4,914	△4,914
投資その他の資産合計	673,954	789,311
固定資産合計	1,107,451	1,253,993
資産合計	3,786,502	3,809,466
負債の部		
流動負債		
買掛金	127,473	91,141
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	132,720	132,720
未払金	234,625	243,291
未払費用	61,582	72,454
未払法人税等	95,254	49,040
未払消費税等	105,949	148,163
未払事業所税	6,574	3,249
前受金	101,748	152,773
預り金	41,911	44,881
賞与引当金	181,581	199,590
受注損失引当金	10,660	—
流動負債合計	1,600,083	1,637,307
固定負債		
長期借入金	404,640	338,280
その他	8,537	9,226
固定負債合計	413,177	347,506
負債合計	2,013,261	1,984,813

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,516	611,271
資本剰余金	314,070	314,825
利益剰余金	928,212	986,197
自己株式	△155,289	△155,289
株主資本合計	1,697,510	1,757,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,588	29,648
その他の包括利益累計額合計	27,588	29,648
新株予約権	48,141	37,998
純資産合計	1,773,241	1,824,652
負債純資産合計	3,786,502	3,809,466

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,130,434	3,329,310
売上原価	2,405,255	2,537,010
売上総利益	725,179	792,300
販売費及び一般管理費	683,519	690,597
営業利益	41,659	101,702
営業外収益		
受取利息及び配当金	137	1,129
助成金収入	1,161	8,315
投資事業組合運用益	—	26,774
その他	794	1,666
営業外収益合計	2,094	37,886
営業外費用		
支払利息	5,269	6,192
投資事業組合運用損	52,231	—
支払手数料	682	450
その他	37	—
営業外費用合計	58,220	6,642
経常利益又は経常損失(△)	△14,466	132,946
特別利益		
固定資産売却益	—	2,439
投資有価証券売却益	9,600	—
新株予約権戻入益	—	10,071
特別利益合計	9,600	12,511
特別損失		
固定資産除却損	0	—
関係会社株式評価損	2,101	—
特別損失合計	2,101	—
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△6,968	145,457
法人税等	△5,507	45,269
中間純利益又は中間純損失(△)	△1,460	100,188
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△1,460	100,188

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△1,460	100,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,386	2,059
その他の包括利益合計	△6,386	2,059
中間包括利益	△7,846	102,247
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△7,846	102,247
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△6,968	145,457
減価償却費	46,834	57,952
株式報酬費用	4,190	—
関係会社株式評価損	2,101	—
新株予約権戻入益	—	△10,071
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△28,195
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,384	18,008
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△3,874	△10,660
受取利息及び受取配当金	△137	△1,129
支払利息	5,269	6,192
支払手数料	682	450
投資事業組合運用損益(△は益)	52,231	△26,774
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,600	—
売上債権の増減額(△は増加)	△40,596	243,391
棚卸資産の増減額(△は増加)	△483	1,452
仕入債務の増減額(△は減少)	△32,890	△36,331
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,468	42,214
預り金の増減額(△は減少)	△74,565	2,970
その他	△10,994	35,713
小計	△58,947	440,639
利息及び配当金の受取額	137	1,129
利息の支払額	△5,269	△6,192
手数料の支払額	△682	△450
法人税等の支払額	△36,462	△91,872
法人税等の還付額	77,960	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△23,263	343,254
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△27,435	△12,620
無形固定資産の取得による支出	△102,715	△76,516
投資有価証券の取得による支出	△325	△100,322
投資有価証券の売却による収入	26,400	—
投資事業組合からの分配による収入	—	14,492
敷金及び保証金の差入による支出	—	△1,168
保険積立金の積立による支出	△149	△149
その他	—	2,439
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,226	△173,846
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	—
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△59,920	△66,360
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△903	—
新株予約権の発行による収入	4,125	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	1,438
自己株式の取得による支出	△55,567	—
配当金の支払額	△43,030	△42,074
財務活動によるキャッシュ・フロー	194,703	△106,996
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	67,213	62,410
現金及び現金同等物の期首残高	1,155,789	1,365,456
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,223,003	1,427,866

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益又は税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前中間純利益又は税引前中間純損失に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,799,780	1,330,653	3,130,434	3,130,434
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,799,780	1,330,653	3,130,434	3,130,434
セグメント利益	333,855	234,233	568,088	568,088

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	568,088
全社費用(注)	△526,428
中間連結損益計算書の営業利益	41,659

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,885,174	1,444,136	3,329,310	3,329,310
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,885,174	1,444,136	3,329,310	3,329,310
セグメント利益	404,921	258,157	663,078	663,078

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	663,078
全社費用(注)	△561,376
中間連結損益計算書の営業利益	101,702

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年6月25日 定時株主総会	普通株式	43	15	2024年3月31日	2024年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年6月26日 定時株主総会	普通株式	42	15	2025年3月31日	2025年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。